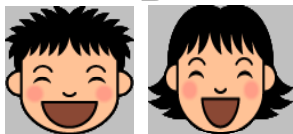


鼓小だより～笑顔いっぱい为学校～



胎内市立鼓岡小学校

第23号 平成21年3月26日

子どもたちの自信を来年度へ

校長 駒木根 康子

卒業生を祝福するにふさわしい好天に恵まれた24日、第62回卒業証書授与式を行いました。60人の子どもたち一人一人の式に臨む意識や態度に、この1年間の成長が見てとれました。今年度の式は「門出のことば」において、全員が言葉を述べるように変えました。自分の出番に少し緊張していたようですが、子どもたちの表情から、やり遂げた満足感がうかがえました。自信をもって進級してほしいと願っています。

平成20年度の教育活動は、この卒業式をもってすべて終わりました。地域に学ぶ、地域を学ぶことを大切にしてきました。ふるさと体験学習ややすらぎの家でのボランティア活動、栗木野荘での活動、ふれあい訪問活動等を実施いたしました。人は人によって育てられます。そして、体験を通して自ら学ぶ力を蓄えていきます。多くの方々との交流から、子どもたちは、人に喜んでもらえること、人の役に立つことを実感できたようです。思いや考え方をどのように伝えればよいかということも学んだようです。

保護者の皆様、地域の皆様からは心強い学校へのご理解とご協力をいただきました。また、子どもたちへの惜しみない愛情と支援をいただきました。感謝申し上げます。平成21年度も職員一同、子どもの笑顔いっぱい花いっぱいの学校づくりに努めます。



凛々とした態度でした。



凛とした空気が式場に流れます。



凛々しい姿の9名の鼓小っ子たち。

「胎内市認定農業者会」より卒業生にチューリップの花が贈呈されました。今年度は、卒業式の中で、1年生と2年生が一人一人に手渡しました。卒業生と在校生全員でつくり上げた卒業式をすてきな黄色いチューリップの花がひきたててくれました。保護者の方々や職員と一緒に撮った写真の笑顔が心に残ります。



「笑顔いっぱいの学校づくり」～夢・チャレンジ・自信～ 『確かな学力』（知）



『共生の心』（徳）



『健康な体づくり』（体）

第62回 卒業証書授与式（3/24）9名が立派に旅立ちました！



来賓の皆様が見守ります。

祝辞を聞く態度も立派でした。



今年の門出の言葉は、卒業生も在校生も全員が主役。立派に役割を果たしました。



卒業式後の教室での一コマです。



卒業証書を手に入在校生とお別れ。



保護者の皆様のあたたかなまなざし。

大変お世話になりました！

3年間勤務した小林教頭は燕市教育委員会、4年間勤務した小林教諭は新潟市立木戸小学校、5年間勤務した平澤教諭は胎内市立本条小学校、約4年間勤務した斎藤調理員は、西学校給食センターにそれぞれ転出することになりました。保護者の皆様、地域の皆様、大変ありがとうございました。

鼓岡小学校が大好きです。元気な子どもたちと笑いあったり、一生懸命勉強したりする時間が宝物でした。学校を離れるのは初めてで、とってもさびしいのですが、子どもたちからもらった元気をエネルギーに頑張ります。3年間の日々とすべての皆様に感謝です。（小林徹哉）



4年間、お世話になりました。温かい地域、保護者の皆様のご支援をいただき、子どもたちの教育に携わることができましたことに感謝申し上げます。鼓岡で経験したこと、学んだことを更に活かして頑張っていきます。本当にありがとうございました。

（小林久喜）

美しい自然、温かい地域の方々、そして何よりすばらしい子どもたちと過ごせた鼓岡小学校での5年間は、幸せでした。今、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。（平澤妙子）



4年間、大変お世話になりました。

毎日みんなで食べる給食は、とっても楽しかったです。ありがとうございました。（斎藤洋子）

